

大学院教育学研究科（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー）

【学校教育専攻】

本専攻は、学校および地域における複合的な教育課題の解決に向かって、多角的に思考し、協働的に実践する専門職や、21世紀社会を生き抜く力に必要な学力を培うための授業作り・教育内容開発・カリキュラム研究およびそれらに関連する支援を担い、優れた教育実践力を発揮できる教員あるいは教育専門家の養成を目的とする。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

1. 本専攻の目的に沿って設定された授業科目を履修し、基準となる単位数を修得することおよび修士論文を作成・提出することが、修士の学位授与における必要要件である。
2. 本専攻の目的に沿い、以下の知識・力量を身につけることを求める。
 - ① 子どもの発達特性や多様なニーズに応じた学習支援を行うための知識・力量
 - ② 教科に関する学問上並びに教育上の専門的知識と高度な教育実践力
 - ③ 専門的知識と実践力を基盤とする協働的・探究的な研究能力
 - ④ 学校とそれを支える地域コミュニティと連携し、今日的な諸課題に対応できる力量

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

1. 教職に関する科目の履修を通して、多様な視点から子どもの発達や学習の状況を把握し、支援できる力量を身につけさせ、複雑化する学校教育の諸課題に対応できる識見と実践力を身につけさせる。
 2. 教科に関する科目の履修を通して高い専門性を身につけさせるとともに、教科教育に関する高度な授業実践力を身につけさせる。
 3. 「協働実践研究プロジェクト」の履修を通して、学校や地域社会と連携しながら、学校と地域の諸課題を実践的に研究し、教員としての協働性や教育開発力を向上させる。
 4. 課題研究の履修並びに修士論文の作成を通して、柔軟な思考力、探究的な研究態度、課題解決のための科学的手法、理論的知見を身につけさせる。
- 以上の1から4を実現するための教育課程を編成し実施する。

【教職開発専攻】

21世紀の知識基盤社会に生きる力を培うために、子どもたち自身が探究し発達に学び合い、成長することのできる学校教育の実現が求められている。そしてその実現は学校を担う教員の専門的力と協働の努力に懸かっている。本専攻は、21世紀の学校改革を支え、その中心となるスクールリーダー・中核教員の力量形成を実現することを目的とする。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

1. 本専攻が求める教職専門性の4つの資質能力を身につけ、基準となる単位数を修得し、「長期実践研究報告」を作成してラウンドテーブルにおいて公表し評価を受けることが、教職修士（専門職）の学位授与の必要要件である。
2. 本専攻の目的に沿って、修了までに以下の資質能力を身につけることを求める。

[教職専門性開発コース・ミドルリーダー養成コース]

- ① 子どもと教師の学習と成長を支えるファシリテーター・コーディネーターとしての実践力
- ② 学び合う教師の協働組織とその改革のマネジメント力
- ③ 教育実践の質を不断に高め発展させていく省察・研究能力
- ④ 公教育を担う専門職としての使命感と責任感

[学校改革マネジメントコース]

- ① グローバル社会を生き抜く力を培う学校組織を創る学校マネジメント力
- ② リスク社会における危機に対応する学校組織を運営する危機管理能力
- ③ 学び続ける教師の学習コミュニティを培う専門職学習コミュニティコーディネート力
- ④ つねに学校を革新し続けるために、専門職としての実践研究を重ねる実践研究組織力

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

1. 「理論と実践の融合」を実現するために、学校を拠点とする「協働実践研究プロジェクト」を中心に教育課程を編成し実施する。
2. 教職専門性開発を生涯にわたって支えるために、世代継承生成サイクルの視点から、教職専門性の4つの資質能力を培う教育課程を編成し実施する。
3. 学び合うコミュニティに公教育改革の支援システムを融合させた教育課程を編成し実施する。